

秋葉区 金津地区散策 マップ



金津地区は、国指定史跡の「新津油田金津鉱場跡」「古津八幡山遺跡・古墳」があります。
秋葉丘陵の里山の自然と都市機能のバランスも良く、白玉の滝・中野邸記念館・県立植物園など観光名所も沢山あります。
是非たずねてみてください。

金津コミュニティ振興協議会
2023年3月改訂

金津コミ協の事業の一部は新潟市の助成を受けています。

- ルート1 国指定史跡 新津油田金津鉱場跡
- ルート2 国指定史跡 古津八幡山遺跡・古墳
- ルート3 金津地区のお宝巡り



つるしびな



各町内会、幼稚園、小・中学校からの参加もあり、コミセンあがての「つるしびな」になってきました。

わんわんパトロール



犬の散歩を兼ねて「子供たち」の見守りをしようと令和2年から始めました。

大運動会



金津地区大運動会も58回をかぞえるまでになりました。各町内の団結がうかがえる貴重なイベントです。

文化祭



文化祭も盛大に開催されています。手塩にかけた、絵画、写真、手芸、盆栽など出品されています。未利用品などの販売も人気を呼んでいます。

金津コミュニティ振興協議会

住所 〒956-0847
新潟市秋葉区古津597番地
TEL/FAX 0250-25-1101
E-mail kanadukomikyo@tune.ocn.ne.jp
駐車場 47台

金津地区概要

古津	朝日	日島	世帯数 3,036戸
西古津	東島	西島	男性 3,363人
蒲ヶ沢	中程	島村	女性 3,547人
金津			2023年2月末現在
塩谷			
割町			

金津地区避難所

- 金津小学校 〒956-0847 新潟市秋葉区古津88
- 金津中学校 〒956-0843 新潟市秋葉区割町10-2
- 里山ビジターセンター 〒956-0845 新潟市秋葉区金津11-93
- 金津地区コミュニティセンター 〒956-0847 新潟市秋葉区古津597
- 新津健康センター 〒956-0035 新潟市秋葉区程島1979-4



サイクリングロード(蒲ヶ沢)



古津八幡山 冬景色



泉恵園の紅葉



新潟県立植物園 野外園地

金津の「四季の写真」は、西古津 今井 富夫 氏から提供して頂きました。

① 菩提寺山



秋葉区の南に位置し標高248mでハイキングが楽しめる。弘法大師が寺を建て、名付けたと言われる。

② 白玉の滝 (金津)



13世紀から知られる山岳修行の地で雄滝(15m)・雌滝(7m)の落差があり、今も滝行が行われている。

③ 金津城跡 (金津)



鎌倉時代に金津小一郎資義が築いたと言われ標高180m程のさくら広場に、「碑」がある。桜の名所でもある。

④ 堀出神社 (金津)



石油王の中野貫一翁が土地と造営費を寄進し、1921年に神殿を造り、中津津から現在地に移転しました。

⑤ 開基坪 (金津)



金津城築城の際、濠から御神像と、黒い水が出て来たという。原油が湧き出た場所です。

⑥ 原油を含む地層



新津丘陵北部に原油を含む地層がある。この層を「砂岩・泥岩互層」といい、金津周辺に多く見られることから金津層と呼んでいる。

⑦ 石油の世界館 (金津)



石油採掘の歴史や人との関わりを紹介する展示館。金津油田の歴史や、上総掘りの模型なども展示している。

⑧ C-3号井



中野邸記念館の前にある。現在も残る綱式機械掘り3番目の井戸で、1903年から100年近く稼働していた。

⑨ ポンピングパワー



1909年設置された米国製で、最盛期には6台の継転機を使い55の井戸に動力を伝えていた。

⑩ C38号井



ロマンの遊歩道途中に見える、機械掘り38番目の井戸。現在は手回しのハンドルで原油汲み出しの様子が体験できる施設です。

⑪ 里山ビジターセンター (金津)



菩提寺山や白玉の滝など、散策の魅力を発信し、準備・休憩もできる。無料開放し、避難所の役目も担う。

⑫ 中野邸記念館 (金津)



日本の石油王と呼ばれた中野貫一翁の邸宅と庭園を有料で公開している。「泉恵園」の紅葉は美しい。

⑬ 青木の墓 (金津高岩寺)



江戸時代、大庄屋だった青木兵右衛門の墓がある。墓石には刀傷があり怪談じみた話が伝わっている。

⑭ 新潟県埋蔵文化財センター (金津)



県内各地の遺跡から出土した縄文土器や石器など発掘物が展示されている。見学体験も出来る。

⑮ 国指定史跡 古津八幡山遺跡 (古津)



弥生時代後期の大規模な高地性環濠集落です。竪穴住居、環濠や土塁、周溝墓などが復元されている。

⑯ 国指定史跡 古津八幡山古墳 (古津)



県内最大級の直径60mもある円墳で、八幡山遺跡に続いて、2011年に国の史跡に指定された。

⑰ 弥生の丘展示館 (蒲ヶ沢)



八幡山遺跡と古墳に関する出土品などを展示し、勾玉作り体験なども出来る。入館は無料です。

⑱ 新潟県立植物園 (金津)



熱帯植物園を含む県立の植物園で、20haを超える広大な園内に10万株以上の植物が植栽されている。

⑲ 小川蕃の墓 (古津)



1891年、古津に生まれ東京帝大医学部を卒業後、朝鮮医学界に貢献した。後に教え子が墓を建てました。

⑳ 普談寺観音堂 (朝日)



真言宗の古刹である。朝日の観音様として知られ、越後33観音霊場の30番札所となっている。

㉑ 酒井憲次郎の碑 (古津広大寺)



1903年、古津に生まれ、一等飛行操縦士で満州国からの飛行で遭難し、碑は母親により建てられた。

㉒ 農協の石倉庫 (古津)



戦時下の1942年、米が国家管理となり、貯蔵用として建てられた。荻野石で風雨や湿気に強い建物です。

㉓ 本多家雙芳碑 (朝日)



江戸後期から明治にかけ、本多文明・敬齋親子はこの地で医業を始め、医療と人材育成に大きく貢献した。

㉔ 舟戸遺跡 (古津)



新津丘陵西端の旧大通川に立地し、古墳時代の拠点集落跡です。八幡山古墳を造った豪族の屋敷があったと言われている。

㉕ お井戸の地蔵 (西島)



西島の東側にある池には、「龍」の印のあるお地蔵様が祀られていて、「雨乞い」の伝説が伝えられている。

㉖ 妙蓮寺の山門 (東島)



江戸後期建造の山門は壮麗剛健で高評価され、様式は三間三戸二重門と呼ばれ、蒲原三大山門として有名である。

㉗ 東島城跡 (東島)



城ヶ平と呼ばれている標高107mの峰が中世の要害跡です。新津氏が有事の際に備えた山城と考えられる。

㉘ 桜清水 (中村)



鎌倉時代神社建造の為に壁土を掘ると清水が湧き出た。近くに桜の大木があり、桜清水と呼ぶようになった。

㉙ 旧中島小学校跡 (中村)



1878年、金津地区に初めて建築された小学校。後に金津尋常高等小学校に統合された。レンガの赤門は当時のままです。

㉚ 程島館跡 (程島)



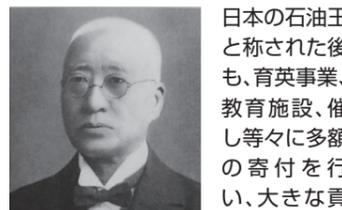
新津城や東島城と一体のものとして建造され、東島城の控えの居館と思われる。公園の一角に標柱がある。

㉛ 山居稻荷 (東島)



妙蓮寺の境内に安置されていたが、明治の神仏分離政策により、東島の現在地(山居)に移設された。

㉜ 中野貫一翁 (1846~1928)



日本の石油王と称された後も、育英事業、教育施設、催し等々に多額の寄付を行い、大きな貢献をしました。(石油の世界館所蔵)

㉝ 蓮徳寺一切経 (西島)



五明院鳳冠から代々に亘って収集された経典1160冊が山門に入った左側の経蔵に収められている。

㉞ さつき山公園 (割町)



木漏れ陽の遊歩道の中の一つ、休憩施設を備えた公園。約150種類のさつきを含め、つつじもある。

㉟ 神倉大権現塔 (蒲ヶ沢神明宮)



嘉永年間(1848年~54年)に設立された金津の神倉大権現塔。日本に於ける神仏の称号の一つです。

ルート1 国指定史跡 新津油田金津鉱場跡

「新津油田金津鉱場跡」は、平成30年(2018年)10月15日、国指定史跡に認定されました。明治7年(1874年)から平成8年(1996年)まで、約120年間稼働していた施設です。採油から精製までの一連のシステムが残っています。機械掘りC3号井をはじめとする油井のやぐら、動力源としてのポンピングパワー、処理施設などの遺構があり、原油を採掘して水分を切り製油所へ送り出すまでのシステムが残っています。記号「K」上総掘り、「C」綱式機械掘りの意味です。ロマンの遊歩道上り途中には、金津層(砂泥互層)が見られます。石油の世界館には、上総掘り、綱式機械掘りの模型、金津鉱場跡のジオラマなどが見られます。

- 順路**
- ① 里山ビジターセンター → A C86号井 → ⑦ 石油の世界館 → E C39号井 → G 石油処理施設群
 - B C3号井 → D ろ過池(泥溜) → E ロマンの遊歩道上り → ⑨ ポンピングパワー1号機・休憩所(暖室)
 - F C14号井 → G C7号井 → ⑩ C38号井 → H ロマンの遊歩道下り → ⑪ 里山ビジターセンター



ルート2 国指定史跡 古津八幡山遺跡・古墳

古津八幡山遺跡は、標高約50mの丘陵上にある弥生時代後期(約2000年前)の大規模な高地性環濠集落です。古墳時代中期(約1600年前)には県内最大の古墳が造られました。当時の社会情勢を考えるうえで重要な遺跡であるとして、平成17年(2005年)国の史跡に指定されました。また平成23年(2011年)には、古墳が追加指定されました。竪穴住居7棟や、環濠、方形周溝墓2基、前方後方形周溝墓1基、古津八幡山古墳などが復元整備されています。復元された遺跡を巡って、「古代にタイムスリップ」歴史を体感してみませんか。

- 順路**
- ⑬ 弥生の丘展示館 → 登り → ⑮ 古津八幡山遺跡 (A 竪穴住居 → B 条溝 → C 方形周溝墓 → D 外環濠 C
 - E 前方後方形周溝墓 → F 内環濠 A) → ⑯ 古津八幡山古墳 → 下り → ⑰ 植物園園内散策
 - ⑱ 弥生の丘展示館前



ルート3 金津地区のお宝巡り

金津地区には、国指定史跡が2ヶ所あります。白玉の滝や朝日の観音様・新潟県立植物園など観光名所も沢山あり、里山の自然に囲まれたなかで、ゆっくりとした時間が流れる「ふる里」です。また、石油王の中野貫一翁、医業と私学を開いた本多親子、酒井憲次郎氏、小川蕃氏、等々優れた人材を輩出しています。
風に誘われて、歩いてみませんか。

順路

古津駅 → 26 妙蓮寺の山門 → 28 桜清水 → 29 旧中島小学校跡 → 戻り → 28 本多家雙芳碑 → 20 普談寺 → 22 農協の石倉庫 → 21 酒井憲次郎の碑(廣大寺) → 古津駅
点線の 27 東島城跡・31 山居稻荷 見晴らしの丘ルートもおすすめです。



金津里山の魅力住よさ

防災・減災に取り組む

金津地区の災害の歴史は、記録によれば1820年能代川の堤防決壊に始まり、近年は台風・豪雪・水害等により甚大な被害が発生している。最近、「秋葉山活断層」が発見され更なる防災対策の強化が求められている。激甚化する災害に過去から学び先見性を以って対処し、訓練と意識の高揚により人的被害の軽減も可能である。今後も災害に強い郷土を作るため関係機関と緊密な連携の下、英知を結集して強靱な対策を講じて行きます。



金津コミュニティ振興協議会会長 青木 貞義

ぴいす金津



地域で見守りプロジェクト、「ぴいす金津」は椅子を使った防犯活動です。小・中 PTAが主体となり、地域と学校と協働で活動しています。住民の手で、オレンジ色に塗られ管理された木製の椅子を、通学路のホットスポット(犯罪機会論に基づき危険とされている「入りやすく、見えにくい場所」)に設置することにより、多くの住民に座りながら見守りをしてもらおう！ という活動です。また、椅子が設置してある事で、子供にも危険な場所がわかりやすいという効果があります。

ぴいす金津代表 中野 妙

県外からの移住

神奈川県から金津へ移住して3年が経ちました。冬の暗く寒い古民家に住み、縁もゆかりもない場所で不安でしたが、家族で助け合い明るく温かい、愛情溢れる生活へと変化して行きました。古民家は、リノベーションされ、エコで無添加な住居へ、新鮮な野菜も畑から収穫します。5歳になった雄宇は、AKIHAの森の幼稚園で、2歳になった花菜は、金津の静かで穏やかな里山で、家族皆でゆったりとした時間を楽しんで過ごしています。



酒井 隆光 ご家族

アクセス



JRでの移動
JR新潟駅→JR古津駅
約25分
車での移動
JR新潟駅→JR古津駅
約35分
徒歩での移動
JR古津駅から白玉の滝
約40分